

### 3 . 重要度、満足度について

分析を行うに際して、重要度、満足度（不満度）という指標を用いている。

#### ( 1 ) 重要度、満足度の平均得点について

各分野の取組の重要意識及び満足意識の各選択肢に得点をつけ、重要度、満足度のポイントを算出した。得点配分は下表のとおりとなっている。選択肢に重みをつけることから、回答者の重要意識・満足意識を総合的に反映した、より深い分析が可能となる。結果を基に 44 項目の重要度・満足度の現状や、重要度と満足度の関係等を分析する。

得点配分

重要度	満足度	得点
重 要	満 足	+ 2
どちらかといえば重要	どちらかといえば満足	+ 1
どちらともいえない	どちらともいえない	± 0
どちらかといえば重要でない	どちらかといえば不満	- 1
重要でない	不 満	- 2
わからない、無回答		

「わからない、無回答」は母数から除くためポイントをつけない。

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要」} \times 2 + \text{「どちらかといえば重要」} + \text{「どちらかといえば重要でない」} \times (-1) + \text{「重要でない」} \times (-2)}{\text{「わからない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 2 + \text{「どちらかといえば満足」} + \text{「どちらかといえば不満」} \times (-1) + \text{「不満」} \times (-2)}{\text{「わからない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

## (2) 重要度、満足度のプロット図

重要度を縦軸に、満足度を横軸にとって44項目の回答結果をプロットした。

また、44項目の重要度と満足度のそれぞれの平均値（重要度平均値1.39、満足度平均値-0.12）によって分けられた4つのグループについて、以下のとおり考えられる。



### A 重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目

グラフ左上に位置する項目は、施策の必要性が十分認識され、特に取組の推進や改善に対する県民のニーズ（期待）が高い項目と考えられ、従来の施策の取組方向について、さらに改善を検討する必要がある。

### B 重要度、満足度ともに平均値より高い項目

グラフ右上に位置する項目は、施策の必要性が十分認識され、その取組にも満足されている項目と考えられ、今後も現在の水準を維持するため、着実に取組を推進する必要がある。

### C 重要度、満足度ともに平均値より低い項目

グラフ左下に位置する項目は、取組の推進や改善に対するニーズは高いものの、他の施策と比較してその必要性の認識が低い項目と考えられ、施策の重要性をさらに認知してもらえるような取組とともに、従来の施策の取組方向の改善を検討する必要がある。

### D 重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高い項目

グラフ右下に位置する項目は、他の施策と比較してその必要性の認識は低いものの、取組には満足されている項目と考えられ、現状どおりの着実な取組の推進とともに、施策の重要性についてさらに認知してもらえる取組を進める必要がある。

また、地域別や認知状況による違い等を分析する際、県全体や他地域との比較を分かりやすくするため、ゾーン分けは県全体の平均ラインを用い、参考として図中に地域の重要度、満足度の平均ラインを点線で示している。

#### 4 . 県行政の取組 44 項目に対する重要度、満足度

平成 18 年度における県行政の取組に対する重要度、満足度の結果は、以下のようになった。

重要度については、全ての項目でゼロ以上となっており、県民は 44 項目のいずれについても重要だと感じていることがわかる。また、満足度については多くの項目が負（マイナス）の値を示しており、特に「雇用」「地域商工業」の満足度は低くなっている。

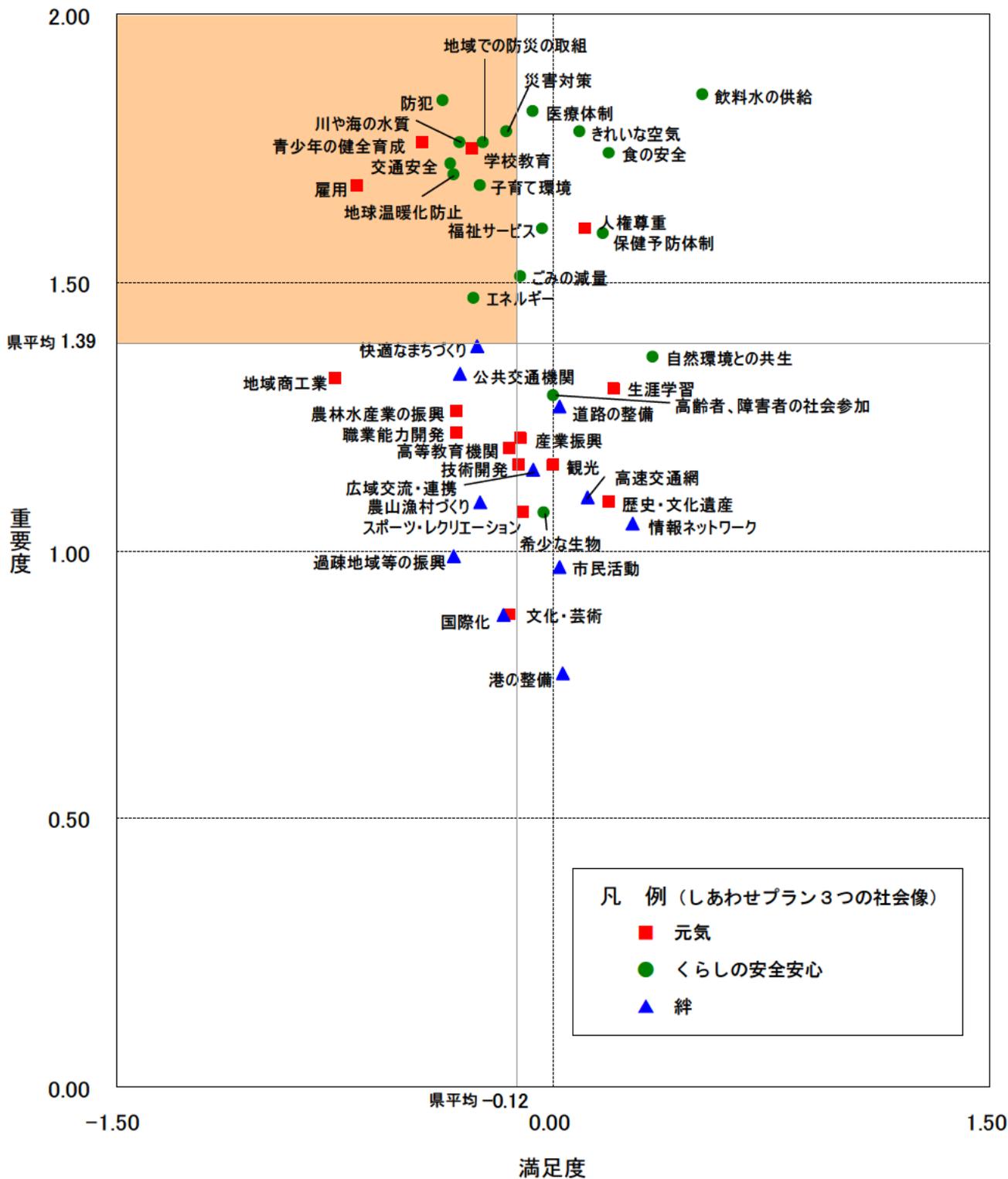
表 平成 18 年度の重要度、満足度

順位	項目	重要度	項目	満足度
1位	44.飲料水の供給	1.85	44.飲料水の供給	0.51
2位	13.防犯	1.84	20.自然環境との共生	0.34
3位	18.医療体制	1.82	35.情報ネットワーク	0.27
4位	11.災害対策	1.78	02.生涯学習	0.21
5位	23.きれいな空気	1.78	08.歴史・文化遺産	0.19
6位	04.青少年の健全育成	1.76	14.食の安全	0.19
7位	10.地域での防災の取組	1.76	16.保健予防体制	0.17
8位	24.川や海の水質	1.76	36.高速交通網	0.12
9位	03.学校教育	1.75	01.人権尊重	0.11
10位	14.食の安全	1.74	23.きれいな空気	0.09
11位	12.交通安全	1.72	39.港の整備	0.03
12位	25.地球温暖化防止	1.70	06.市民活動	0.02
13位	17.子育て環境	1.68	37.道路の整備	0.02
14位	31.雇用	1.68	15.高齢者、障害者の社会参加	0.00
15位	01.人権尊重	1.60	28.観光	0.00
16位	19.福祉サービス	1.60	21.希少な生物	-0.03
17位	16.保健予防体制	1.59	19.福祉サービス	-0.04
18位	22.ごみの減量	1.51	18.医療体制	-0.07
19位	43.エネルギー	1.47	34.広域交流・連携	-0.07
20位	40.快適なまちづくり	1.38	09.スポーツ・レクリエーション	-0.10
21位	20.自然環境との共生	1.36	22.ごみの減量	-0.11
22位	38.公共交通機関	1.33	27.産業振興	-0.11
23位	30.地域商工業	1.32	29.技術開発	-0.12
24位	02.生涯学習	1.30	05.高等教育機関	-0.15
25位	15.高齢者、障害者の社会参加	1.29	07.文化・芸術	-0.15
26位	37.道路の整備	1.27	11.災害対策	-0.16
27位	26.農林水産業の振興	1.26	33.国際化	-0.17
28位	32.職業能力開発	1.22	10.地域での防災の取組	-0.24
29位	27.産業振興	1.21	17.子育て環境	-0.25
30位	05.高等教育機関	1.19	41.農山漁村づくり	-0.25
31位	28.観光	1.16	40.快適なまちづくり	-0.26
32位	29.技術開発	1.16	43.エネルギー	-0.27
33位	34.広域交流・連携	1.15	03.学校教育	-0.28
34位	36.高速交通網	1.10	24.川や海の水質	-0.32
35位	08.歴史・文化遺産	1.09	38.公共交通機関	-0.32
36位	41.農山漁村づくり	1.09	26.農林水産業の振興	-0.33
37位	09.スポーツ・レクリエーション	1.07	32.職業能力開発	-0.33
38位	21.希少な生物	1.07	25.地球温暖化防止	-0.34
39位	35.情報ネットワーク	1.05	42.過疎地域等の振興	-0.34
40位	42.過疎地域等の振興	0.99	12.交通安全	-0.35
41位	06.市民活動	0.97	13.防犯	-0.38
42位	07.文化・芸術	0.88	04.青少年の健全育成	-0.45
43位	33.国際化	0.88	31.雇用	-0.67
44位	39.港の整備	0.77	30.地域商工業	-0.75
	重要度平均	1.39	満足度平均	-0.12

## 5. 重要度、満足度プロット図

### (1) 重要度、満足度プロット図

図 重要度と満足度の関係（平成18年度）



図は縦軸に重要度、横軸に満足度をとって、各項目をプロットしたものである。この中で特に注目すべき部分は、重要度が高く満足度が低い項目であり、これらはグラフの左上方に位置している（Aゾーン）。これらの取組については特に推進や改善に対する住民のニーズが高いものである。

今回調査におけるニーズの高い項目（Aゾーンに位置する項目）は、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「エネルギー」の11項目があげられる。

年齢別にみると、「学校教育」は40～50歳代で、「地球温暖化防止」は20歳代、40～50歳代で、「雇用」は50歳代で不満度が高くなっている。それ以外のAゾーンの項目は20～50歳代の若年層から中高年層まで幅広い年齢層で不満度が高くなっている。地域別にみると、「雇用」「エネルギー」は東紀州地域で不満度が高くなっているのに対し、「防犯」は東紀州地域で不満度は低い（集計資料p7～94）。

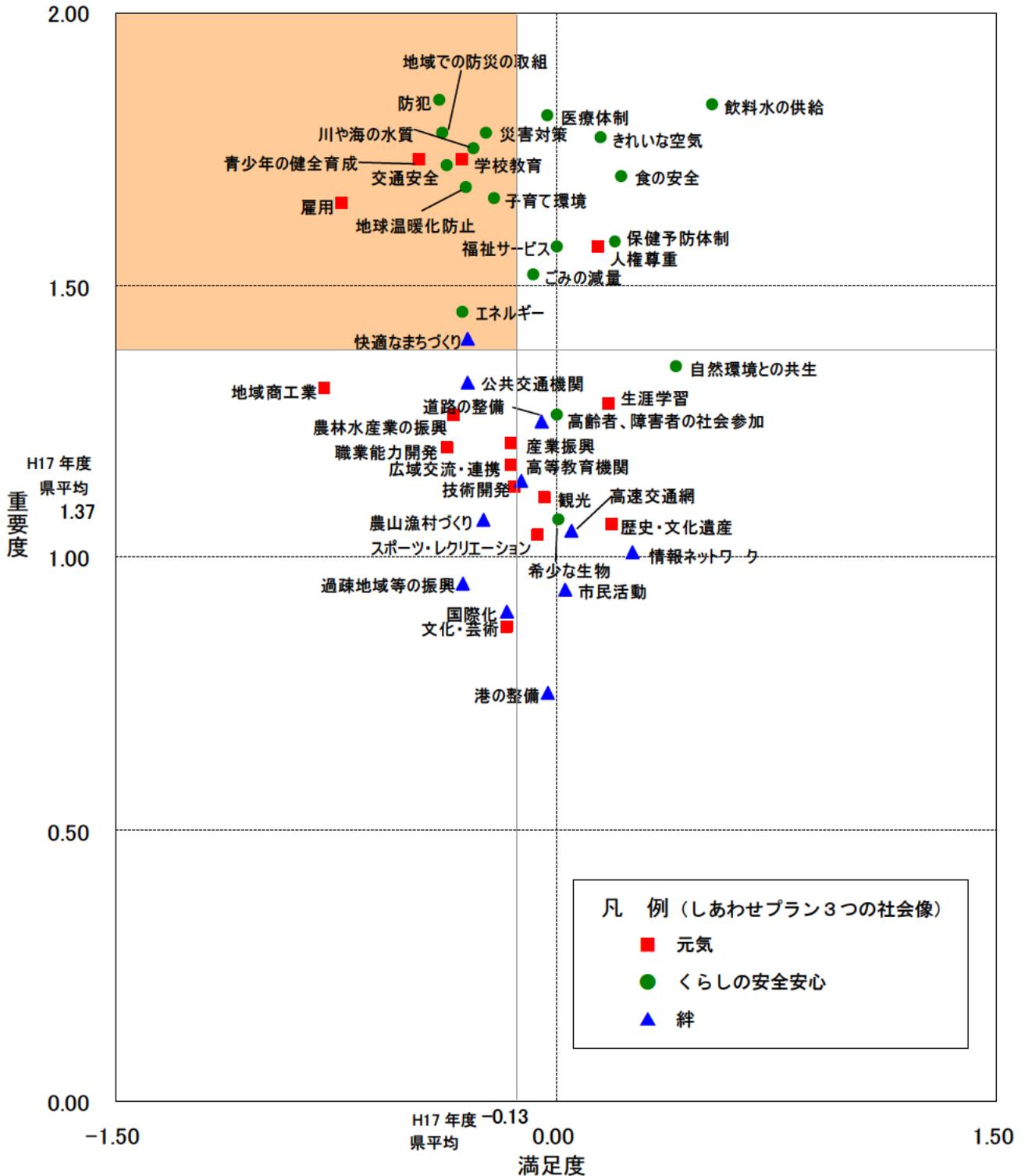
しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目の多くが重要度平均値以上の位置にあげられており、県民の安全や安心に対する関心が非常に高いことがうかがえる。中でも満足度の低い項目として、安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」、環境面で「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。また、「子育て環境」のニーズも高くなっている。「元気」に関する項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」など子どもの教育に関する項目と併せ、「雇用」に対するニーズも高くなっている。一方、「絆」に関する項目はあげられていない。

また、「人権尊重」「食の安全」「保健予防体制」「医療体制」「福祉サービス」「きれいな空気」「ごみの減量」「飲料水の供給」については、重要度、満足度ともに平均値以上であるBゾーンに位置しており、今後も着実に推進する必要がある。

## （2）平成17年度との比較

平成17年度と平成18年度との重要度、満足度の関係を比較すると、重要度平均値（今回：1.39、前回：1.37）、満足度平均値（今回：-0.12、前回：-0.13）にほとんど差はなく、各項目の位置に大きな変化はみられないものの、前回Aゾーンに位置していた「快適なまちづくり」がはずれている。また、前回調査でニーズの高い項目として取り上げられたものは、今回調査においてもほぼ同様にあげられており、「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」などの安全面に関する施策、「川や海の水質」「地球温暖化防止」などの環境面に関する施策や、「学校教育」「青少年の健全育成」「子育て環境」などの子育てや子どもの健全育成に関する項目、「雇用」については、継続的に高いニーズを示している。重要度、満足度ともに平均以上であるBゾーンについても、「飲料水の供給」「きれいな空気」「食の安全」等、前回と同じ項目があげられている。

図 重要度と満足度の関係（平成 17 年度）



### (3) 重要度と満足度の関係の推移

県行政の44項目の施策を5つの分野にまとめ、各分野における施策の平成16年度～18年度の重要度、満足度のポイントの推移を図にプロットした。重要度が高く満足度が低い方向への移動(グラフの左上方向)は、住民からのニーズが高まっていることを表している。ただし、図中の点は、アンケートの結果によるポイントのプロットしたものであるため、多少の誤差が生じることに注意する。また、図中の○は平成16年度における重要度、満足度のポイントを、▲は17年度における重要度、満足度のポイントを、△は平成18年度における重要度、満足度のポイントを図にプロットした点となっている。また、グラフ中の平均値は、平成18年度の県平均を示している。

平成16年度から18年度までの3年間の時系列分析を行った。以下は分析結果の概要である。

#### < 県全体の3年間の動き >

- ・「雇用」「高速交通網」「道路の整備」では、年々満足度が上がっている。
- ・「子育て環境」では、年々満足度が下がっている。
- ・「地域での防災の取組」「災害対策」では、平成17年度に満足度が下がり18年度は持ち直すといった特徴的な動きがみられる。

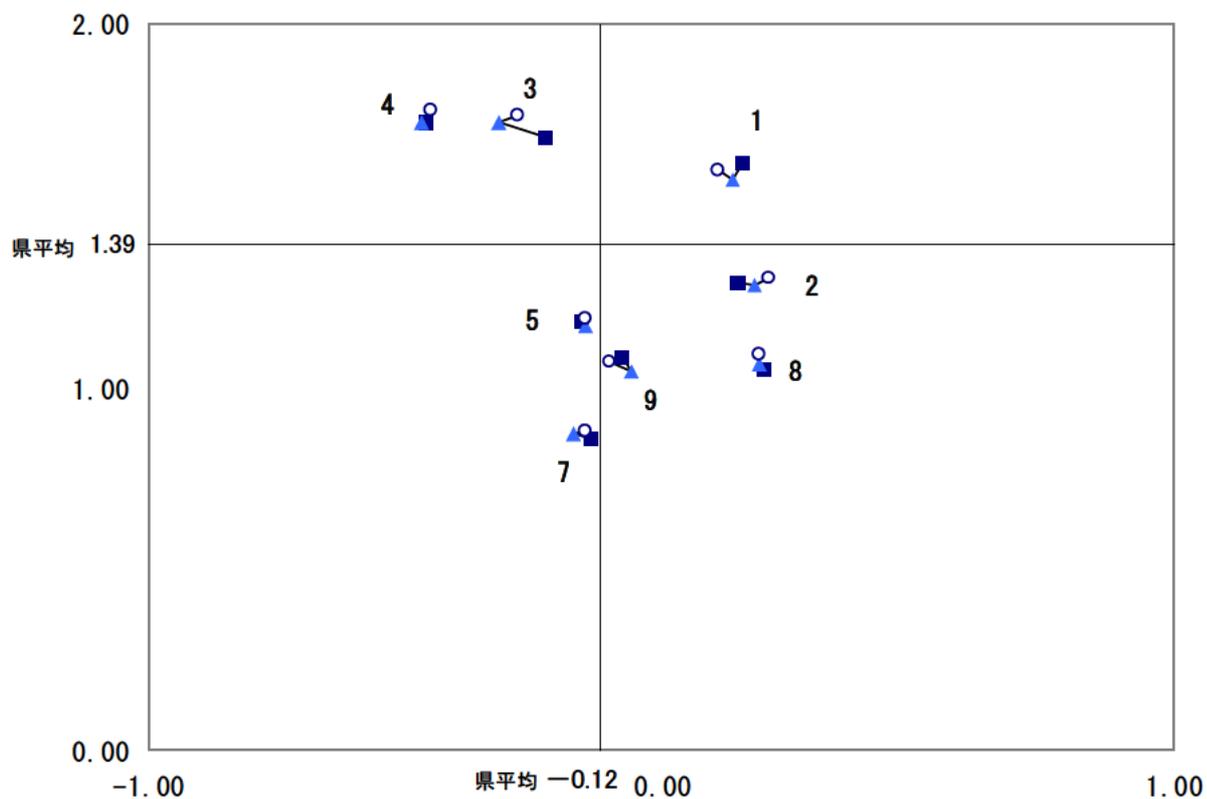
#### < 県全体の3年間の動きと地域別の3年間の動きの比較 > (集計資料 p155～159)

- ・北勢、中南勢地域は、県全体の動きとほぼ同様の動きをしている。
- ・伊勢志摩地域では、県全体では動きのない「青少年の健全育成」「福祉サービス」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化の防止」において、3年間に満足度が徐々に上がるという動きがみられる。
- ・伊賀地域では、県全体では、平成16年度から18年度にかけて満足度が大幅に上がっている「高速交通網」「道路の整備」のうち、「道路の整備」については動きがなく、「高速交通網」については、18年度に満足度が下がるという動きになっている。
- ・東紀州地域では、県全体では満足度が上がっている「雇用」については、動きがなく、県全体では動きのない「医療体制」については、平成17年度に大幅に満足度が下がり、18年度においてもほとんど変わっていない。

#### 5つの地域について

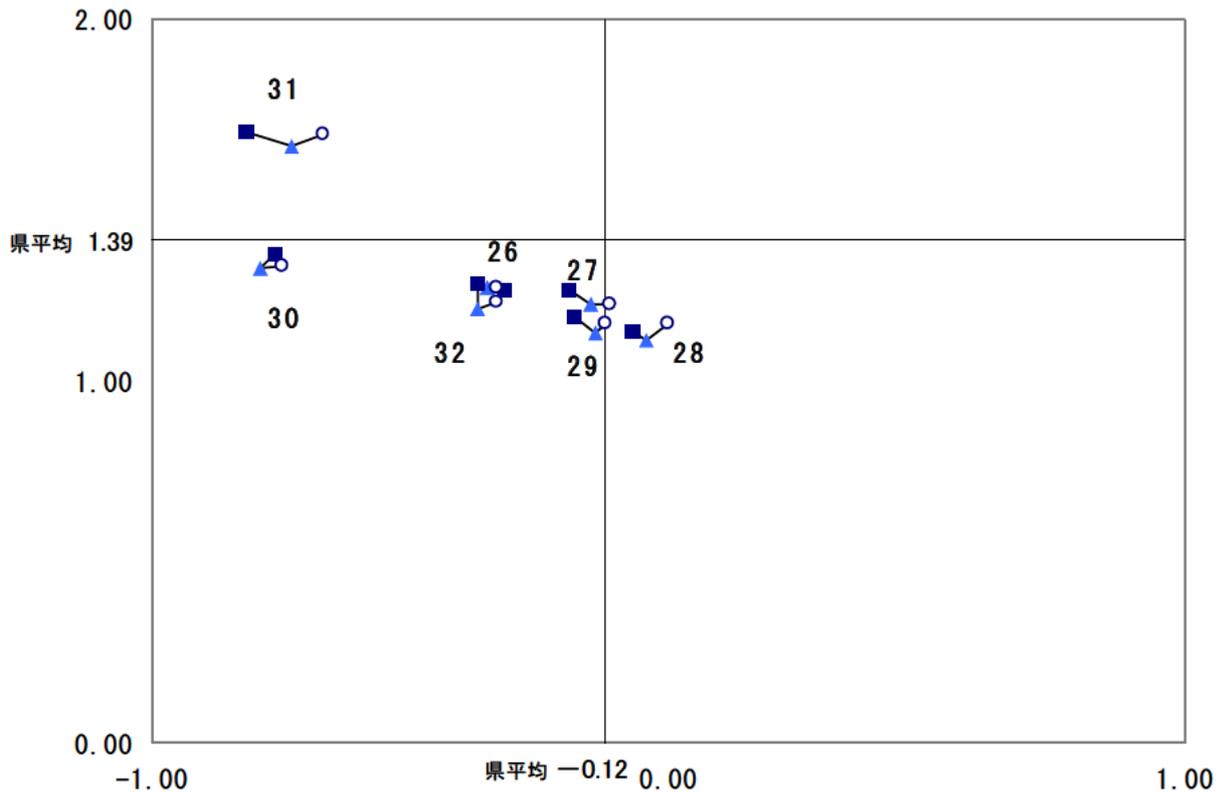
- ・北勢地域・・・桑名・員弁生活創造圏、四日市生活創造圏、鈴鹿・亀山生活創造圏をあわせたもの
- ・中南勢地域・・・津・久居生活創造圏、松阪・紀勢生活創造圏をあわせたもの
- ・伊勢志摩地域・・・伊勢志摩生活創造圏と同じ
- ・伊賀地域・・・伊賀生活創造圏と同じ
- ・東紀州地域・・・尾鷲生活創造圏、熊野生活創造圏をあわせたもの

○元気（その1）



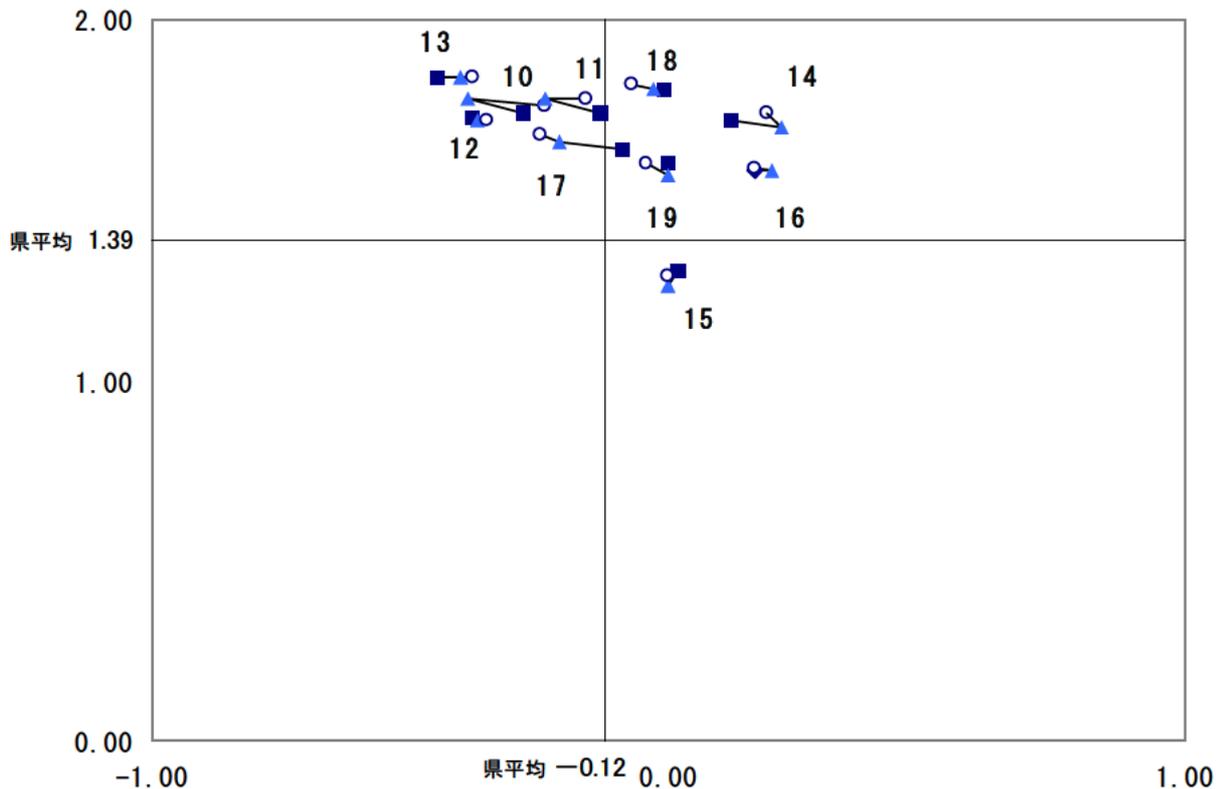
	重要度			満足度		
	H16	H17	H18	H16	H17	H18
1. 人権尊重	1.62	1.57	1.60	0.16	0.14	0.11
2. 生涯学習	1.29	1.28	1.30	0.15	0.18	0.21
3. 学校教育	1.69	1.73	1.75	-0.23	-0.32	-0.28
4. 青少年の健全育成	1.73	1.73	1.76	-0.46	-0.47	-0.45
5. 高等教育機関	1.18	1.17	1.19	-0.16	-0.15	-0.15
7. 文化・芸術	0.86	0.87	0.88	-0.14	-0.17	-0.15
8. 歴史・文化遺産	1.05	1.06	1.09	0.20	0.19	0.19
9. スポーツ・レクリエーション	1.08	1.04	1.07	-0.08	-0.06	-0.10

○元気（その2）



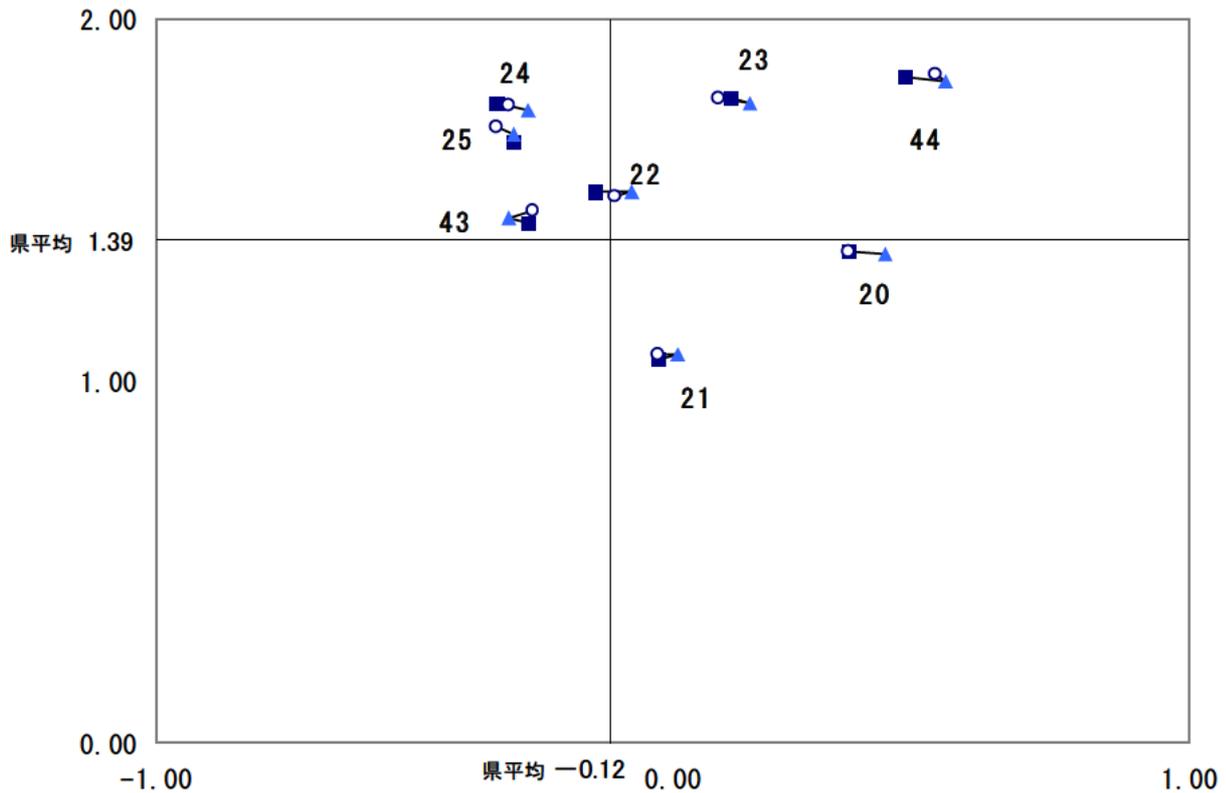
	重要度			満足度		
	H16	H17	H18	H16	H17	H18
26. 農林水産業の振興	1.25	1.26	1.26	-0.32	-0.35	-0.33
27. 産業振興	1.25	1.21	1.21	-0.19	-0.15	-0.11
28. 観光	1.14	1.11	1.16	-0.07	-0.04	0.00
29. 技術開発	1.18	1.13	1.16	-0.18	-0.14	-0.12
30. 地域商工業	1.35	1.31	1.32	-0.76	-0.79	-0.75
31. 雇用	1.69	1.65	1.68	-0.82	-0.73	-0.67
32. 職業能力開発	1.27	1.20	1.22	-0.37	-0.37	-0.33

○くらしの安全安心（その1）



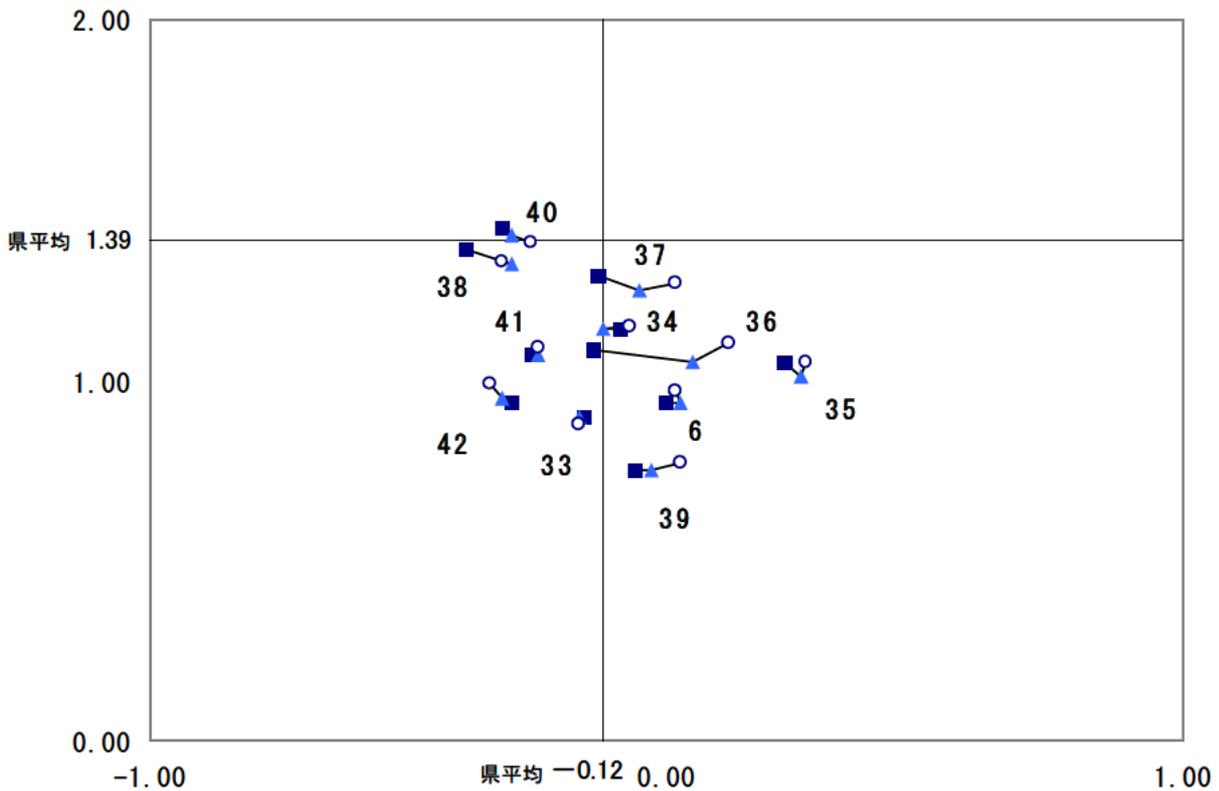
	重要度			満足度		
	H16	H17	H18	H16	H17	H18
10. 地域での防災の取組	1.74	1.78	1.76	-0.28	-0.39	-0.24
11. 災害対策	1.74	1.78	1.78	-0.13	-0.24	-0.16
12. 交通安全	1.73	1.72	1.72	-0.38	-0.37	-0.35
13. 防犯	1.84	1.84	1.84	-0.45	-0.40	-0.38
14. 食の安全	1.72	1.70	1.74	0.12	0.22	0.19
15. 高齢者、障害者の社会参加	1.30	1.26	1.29	0.02	0.00	0.00
16. 保健予防体制	1.58	1.58	1.59	0.17	0.20	0.17
17. 子育て環境	1.64	1.66	1.68	-0.09	-0.21	-0.25
18. 医療体制	1.81	1.81	1.82	-0.01	-0.03	-0.07
19. 福祉サービス	1.60	1.57	1.60	0.00	0.00	-0.04

〇くらしの安全安心（その2）



	重要度			満足度		
	H16	H17	H18	H16	H17	H18
20. 自然環境との共生	1.36	1.35	1.36	0.34	0.41	0.34
21. 希少な生物	1.06	1.07	1.07	-0.03	0.01	-0.03
22. ごみの減量	1.52	1.52	1.51	-0.15	-0.08	-0.11
23. きれいな空気	1.78	1.77	1.78	0.11	0.15	0.09
24. 川や海の水質	1.77	1.75	1.76	-0.34	-0.28	-0.32
25. 地球温暖化防止	1.66	1.68	1.70	-0.31	-0.31	-0.34
43. エネルギー	1.44	1.45	1.47	-0.28	-0.32	-0.27
44. 飲料水の供給	1.84	1.83	1.85	0.45	0.53	0.51

○絆



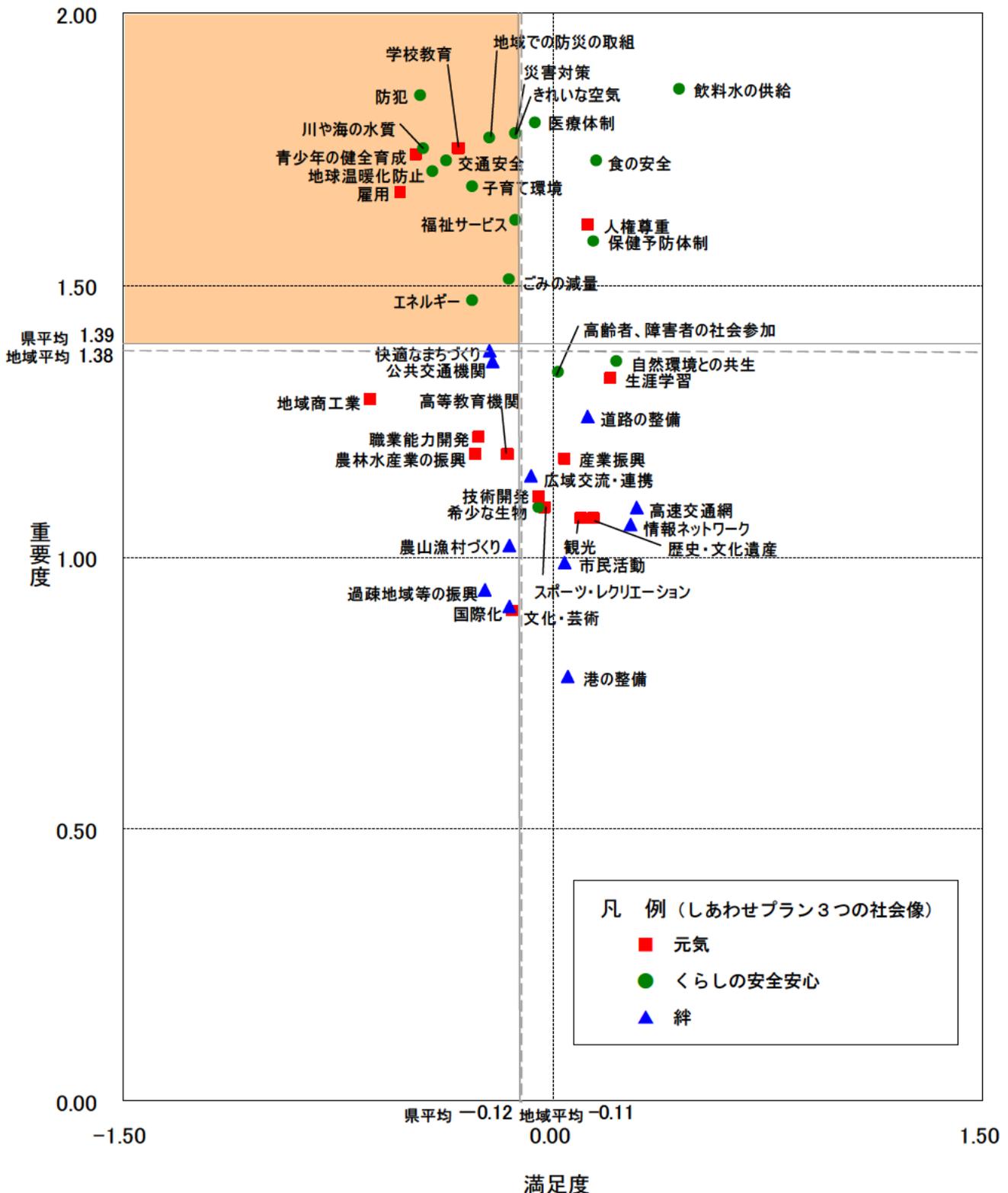
	重要度			満足度		
	H16	H17	H18	H16	H17	H18
6. 市民活動	0.94	0.94	0.97	0.00	0.03	0.02
33. 国際化	0.90	0.90	0.88	-0.16	-0.17	-0.17
34. 広域交流・連携	1.14	1.14	1.15	-0.09	-0.12	-0.07
35. 情報ネットワーク	1.05	1.01	1.05	0.23	0.26	0.27
36. 高速交通網	1.08	1.05	1.10	-0.14	0.05	0.12
37. 道路の整備	1.29	1.25	1.27	-0.13	-0.05	0.02
38. 公共交通機関	1.36	1.32	1.33	-0.39	-0.30	-0.32
39. 港の整備	0.75	0.75	0.77	-0.06	-0.03	0.03
40. 快適なまちづくり	1.42	1.40	1.38	-0.32	-0.30	-0.26
41. 農山漁村づくり	1.07	1.07	1.09	-0.26	-0.25	-0.25
42. 過疎地域等の振興	0.94	0.95	0.99	-0.30	-0.32	-0.34

#### (4) 重要度、満足度の地域特性

5つの地域について、それぞれ重要度、満足度の関係を図にプロットして地域的な特性をつかむ。県全体の場合と比較するため、県全体の場合の平均値ラインを実線「——」で、各地域の平均値ラインを点線「-----」で示す。

##### ①北勢地域

図 重要度と満足度の関係（北勢）



県全体の場合と比較して、重要度、満足度の平均とも大きな違いはみられない。

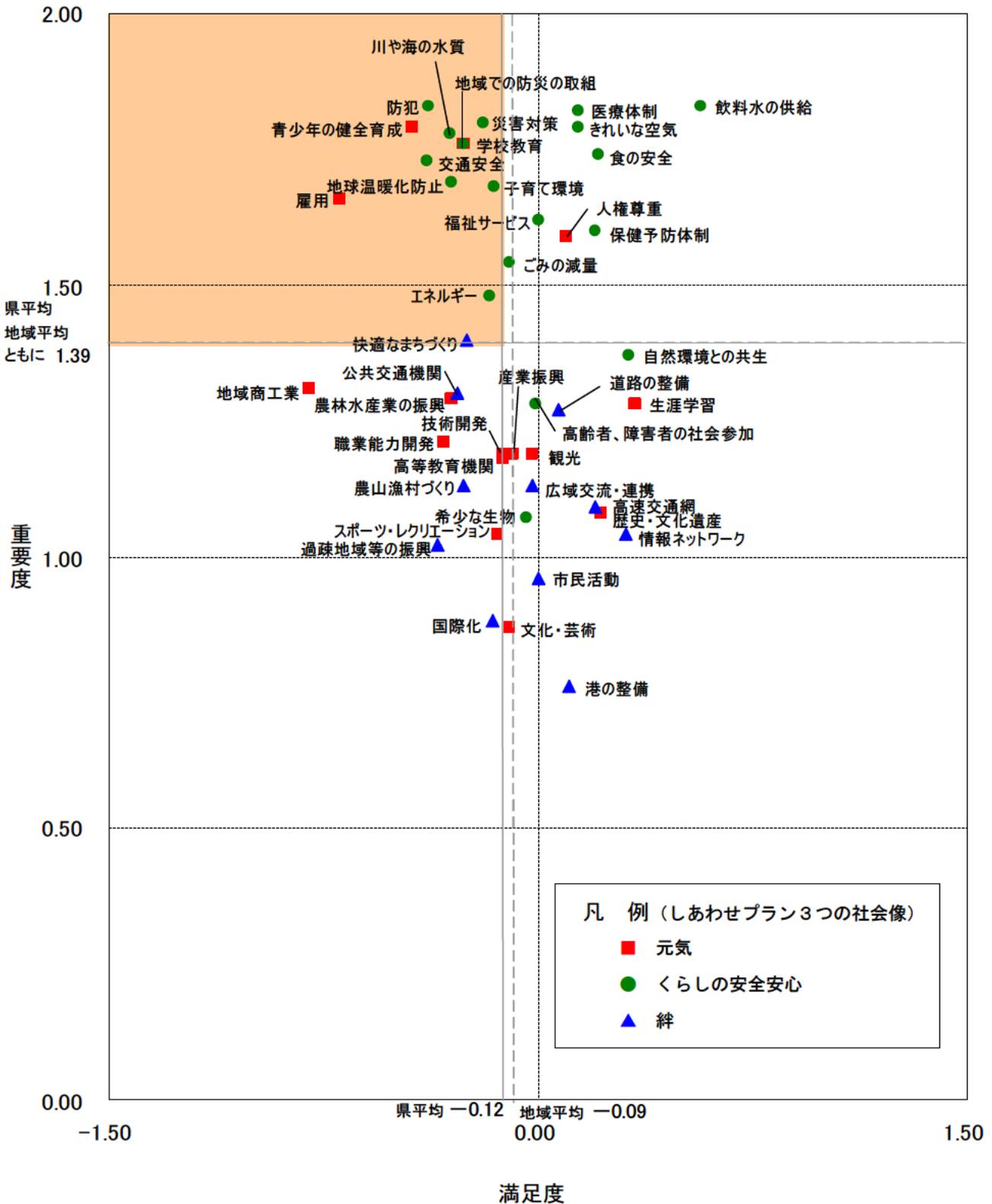
Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「福祉サービス」「ごみの減量」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「エネルギー」の14項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「福祉サービス」「ごみの減量」「きれいな空気」が北勢地域ではAゾーンに入っている。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」が、安心面で「福祉サービス」が、環境面で「ごみの減量」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では「学校教育」「青少年の健全育成」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」のニーズも高くなっている。一方、「絆」に関する項目はあげられていない。

なお、県全体と比べて満足度が低い項目としては、「きれいな空気」があげられている。

②中南勢地域

図 重要度と満足度の関係（中南勢）



県全体の場合と比較して、重要度の平均に大きな違いはみられないが、満足度の平均は高くなっている。

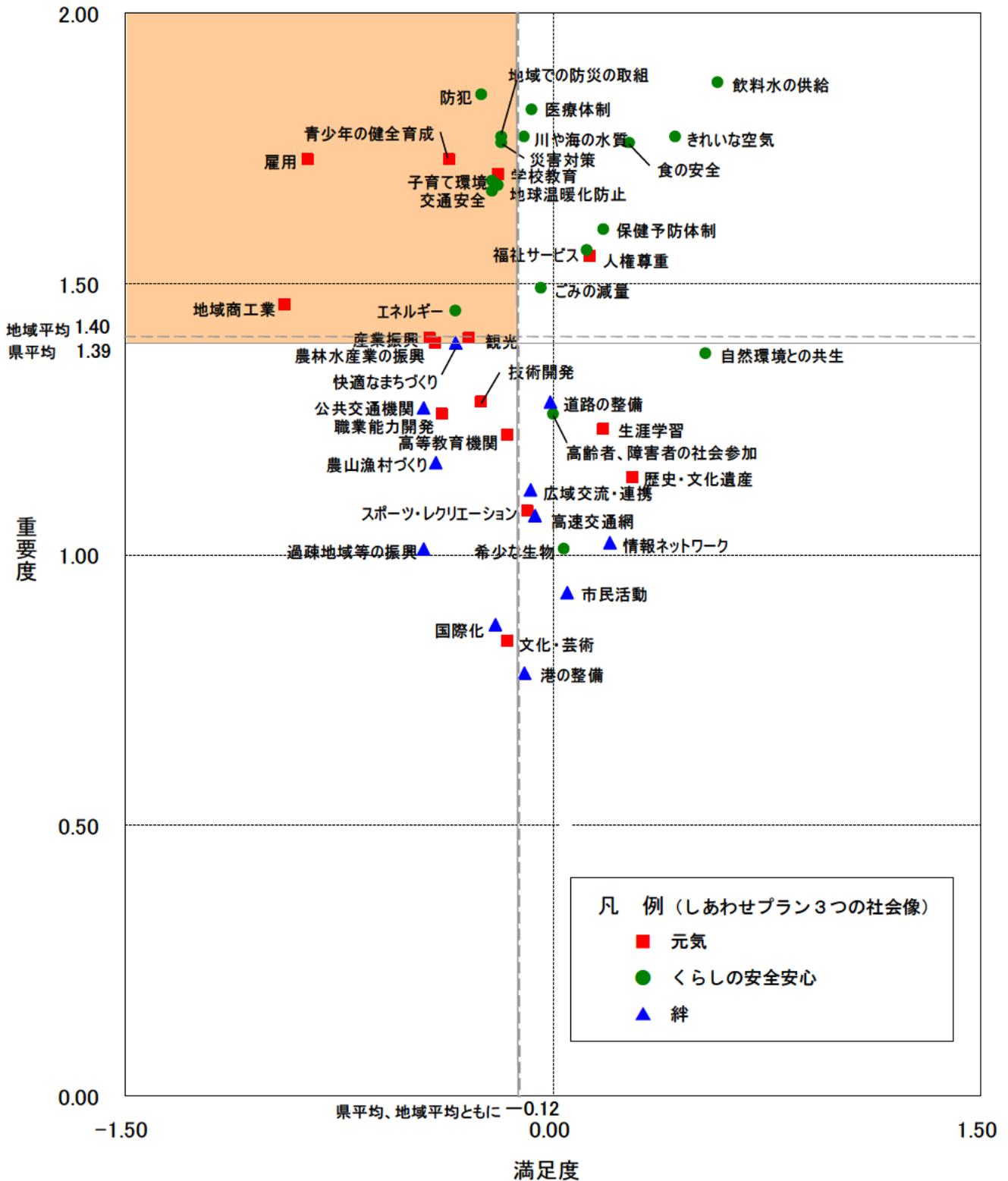
Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「快適なまちづくり」「エネルギー」の12項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「快適なまちづくり」が中南勢地域ではAゾーンに入っている。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」が、環境面で「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「学校教育」「青少年の健全育成」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」のニーズも高くなっている。「絆」に関する項目では「快適なまちづくり」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「医療体制」があげられている。

③伊勢志摩地域

図 重要度と満足度の関係（伊勢志摩）



県全体の場合と比較して、重要度、満足度の平均ともに大きな違いはみられない。

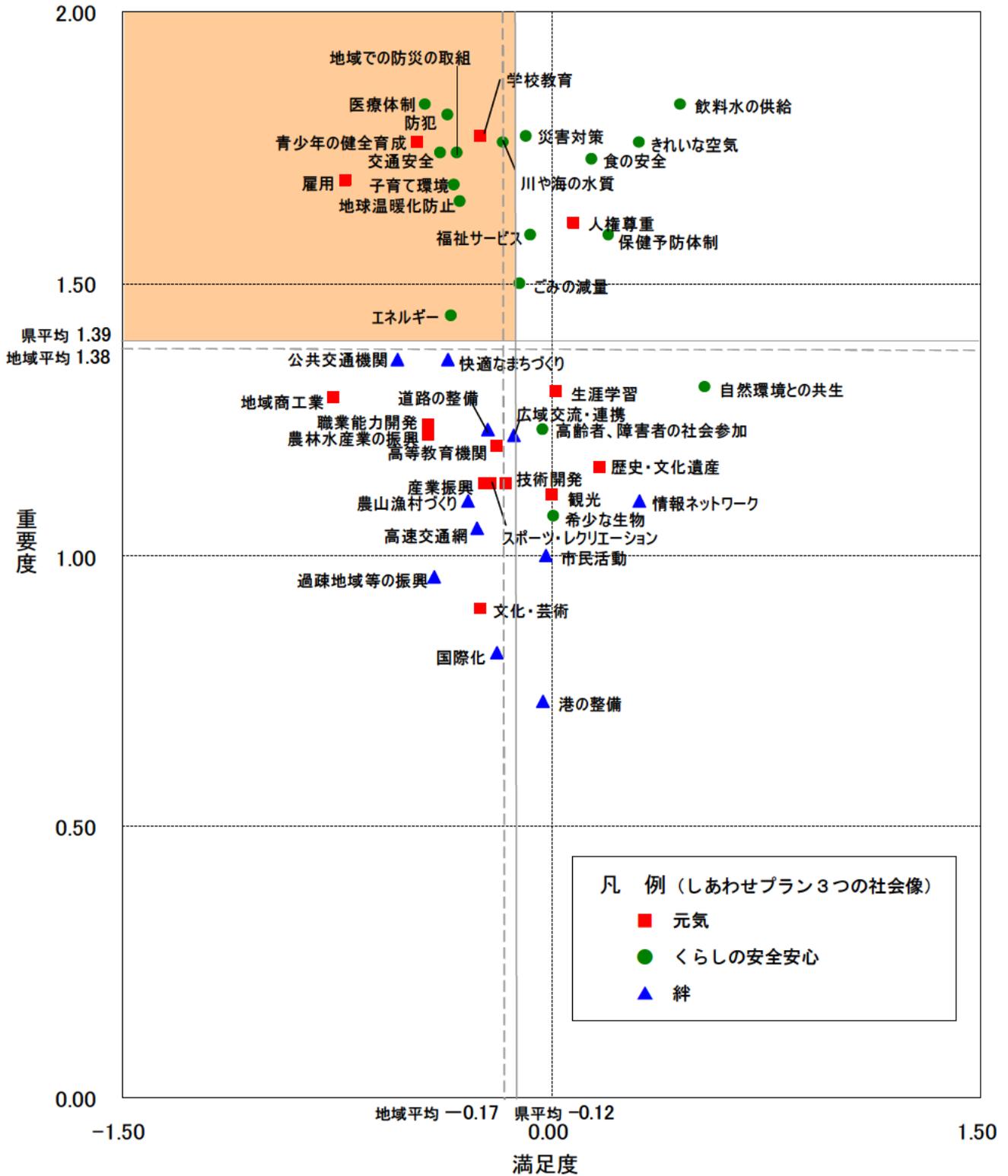
Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「地球温暖化防止」「農林水産業の振興」「産業振興」「観光」「地域商工業」「雇用」「快適なまちづくり」「エネルギー」の15項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「農林水産業の振興」「産業振興」「観光」「地域商工業」等の地域産業の発展に関する項目や「快適なまちづくり」が伊勢志摩地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「川や海の水質」が伊勢志摩地域ではAゾーンに入っていない。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」が、環境面で「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「学校教育」「青少年の健全育成」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえる。また、産業面で「農林水産業の振興」「産業振興」「観光」「地域商工業」「雇用」があげられている。「絆」に関する項目では「快適なまちづくり」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「きれいな空気」「川や海の水質」等の環境面があげられているのに対し、満足度が低い項目としては「産業振興」「観光」等の産業面があげられている。

④伊賀地域

図 重要度と満足度の関係（伊賀）



県全体の場合と比較して、重要度に大きな違いはみられないが、満足度の平均は低くなっている。

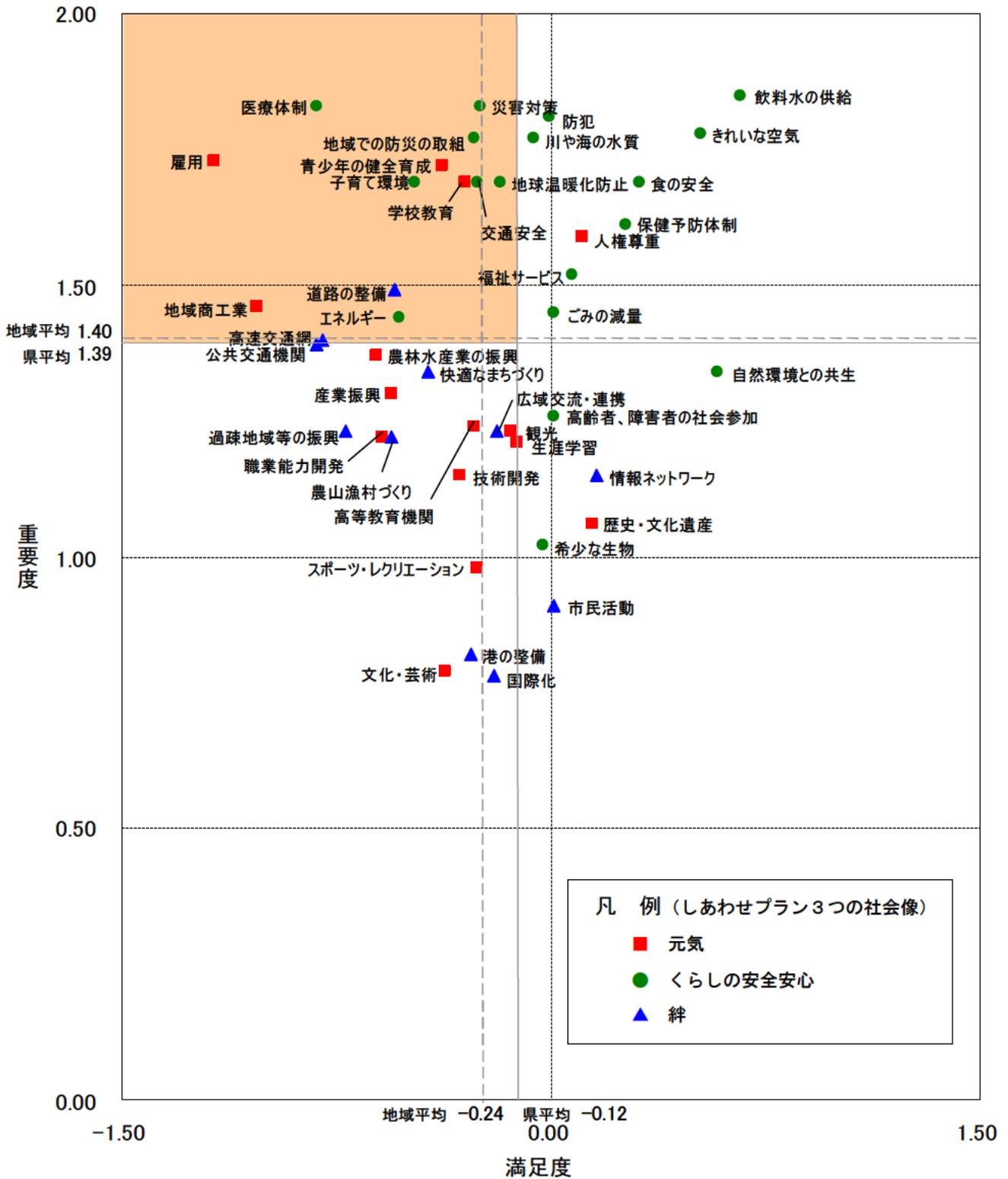
Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」「防犯」「子育て環境」「医療体制」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「雇用」「エネルギー」の11項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「医療体制」が伊賀地域ではAゾーンに入っている。一方、県全体ではAゾーンに入っている「災害対策」が伊賀地域ではAゾーンに入っていない。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「交通安全」「防犯」が、安心面で「医療体制」が、環境面で「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「学校教育」「青少年の健全育成」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」のニーズも高くなっている。一方、「絆」に関する項目はあげられていない。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「きれいな空気」「自然環境との共生」の環境面があげられているのに対し、満足度が低い項目としては、「高速交通網」「道路の整備」等の交通面や「医療体制」があげられている。

⑤東紀州地域

図 重要度と満足度の関係（東紀州）



県全体の場合と比較して、重要度の平均に大きな違いはみられないが、満足度の平均は低くなっている。また、全体的に満足度の分布幅が大きく、項目によって満足度の差が大きい。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「地球温暖化防止」「地域商工業」「雇用」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「エネルギー」の14項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「医療体制」「地域商工業」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」が東紀州地域ではAゾーンに入っているのに対し、県全体ではAゾーンに入っている「防犯」「川や海の水質」は東紀州地域ではAゾーンに入っていない。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」が、安心面で「医療体制」が、産業面で「地域商工業」「雇用」が、環境面で「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「学校教育」「青少年の健全育成」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえる。「絆」に関する項目では、交通面で「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「きれいな空気」「川や海の水質」「自然環境との共生」等の環境面や「防犯」があげられているのに対し、満足度の低い項目としては、「高速交通網」「医療体制」「道路の整備」「雇用」「公共交通機関」「産業振興」「過疎地域等の振興」「生涯学習」「港の整備」「農山漁村づくり」等があげられている。

<地域特性の総括>

県南部の東紀州地域は「重要度、満足度プロット図」をみると、他の地域と比べて満足度の分布が分散しているが、主に重要度が高く満足度が低い（＝ニーズが高い）左上方に位置にしていることが特徴といえ、中でも「医療体制」や「高速交通網」「道路の整備」等交通面の項目が他地域に比べて左上方に位置している。一方、他地域でAゾーンの項目としてあげられている「防犯」がAゾーンから外れている。

「医療体制」は、全域をとおして重要度の高い項目となっているが、伊賀、東紀州地域では不満度が高く、Aゾーンの項目としてあげられている。また、「きれいな空気」は北勢地域、「産業振興」などの産業面は伊勢志摩地域で不満度が高く、Aゾーンの項目としてあげられている。

表 地域別にみた、特に県民ニーズの高い項目（Aゾーンにあげられている項目）

県全体	北勢地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	伊賀地域	東紀州地域
03. 学校教育					
04. 青少年の健全育成					
10. 地域での防災の取組					
11. 災害対策	11. 災害対策	11. 災害対策	11. 災害対策		11. 災害対策
12. 交通安全					
13. 防犯					
17. 子育て環境					
				18. 医療体制	18. 医療体制
	19. 福祉サービス				
	22. ごみの減量				
	23. きれいな空気				
24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質		24. 川や海の水質	
25. 地球温暖化防止					
			26. 農林水産業の振興		
			27. 産業振興		
			28. 観光		
			30. 地域商工業		30. 地域商工業
31. 雇用					
					36. 高速交通網
					37. 道路の整備
					38. 公共交通機関
		40. 快適なまちづくり	40. 快適なまちづくり		
43. エネルギー					

網掛けの項目は、県全体ではAゾーンにないが、地域段階でAゾーンにあげられている項目

## 6 . 各項目の地域特性

前章では、地域ごとにその特徴を把握したが、本章では、項目の視点から地域の特性を明らかにする。44項目について5つの地域の標準偏差を算出して、どれくらいのばらつきがみられるかを分析することで、項目の地域特性を明らかにする。

### (1) 重要度における各項目の地域特性

「高速交通網」「観光」「過疎地域等の振興」「産業振興」「道路の整備」等の標準偏差が高く、ばらつきがみられる。(図参照)また、上位5項目について各地域の重要度の内訳を下表に示す。「高速交通網」「過疎地域等の振興」「道路の整備」の重要度は、東紀州地域で高くなっている。また、「観光」は伊勢志摩地域で、「産業振興」は伊勢志摩、東紀州地域で高くなっている。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「子育て環境」「川や海の水質」「きれいな空気」「保健予防体制」「医療体制」「地域での防災の取組」等で、これらの項目についてはどの地域の県民も同じように重要と感じているといえる。

図 重要度の標準偏差(地域)

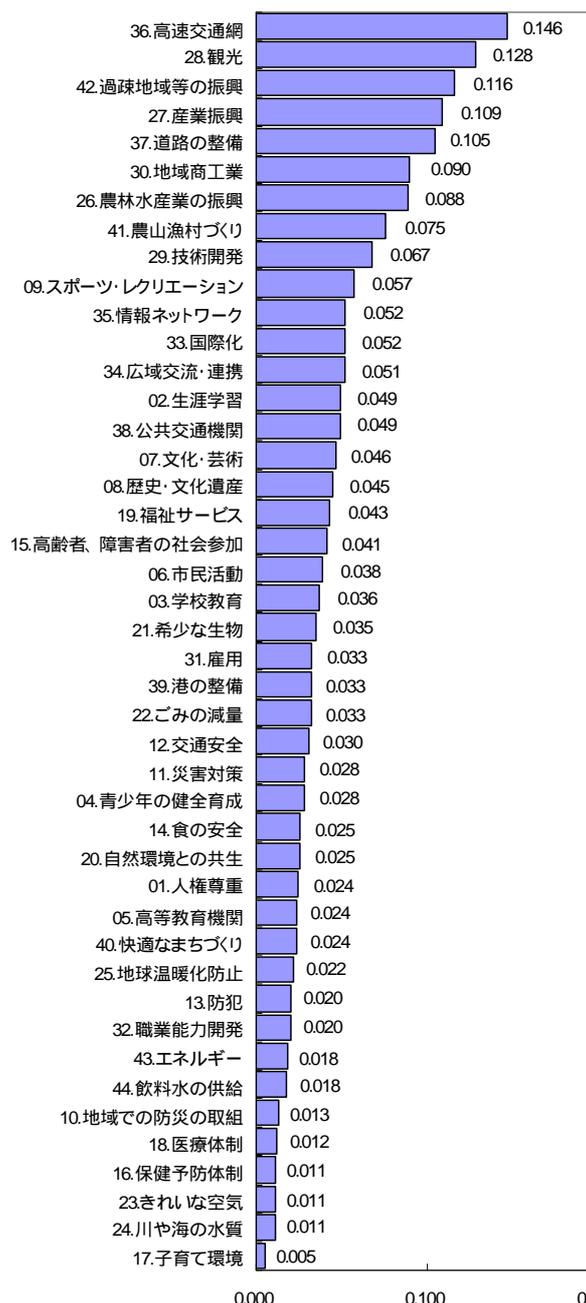


表 各地域の重要度と標準偏差

順位	項目	重要度						標準偏差
		全体	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	
1位	36.高速交通網	1.10	1.09	1.09	1.07	1.05	1.40	0.146
2位	28.観光	1.16	1.07	1.19	1.40	1.11	1.23	0.128
3位	42.過疎地域等の振興	0.99	0.94	1.02	1.01	0.96	1.23	0.116
4位	27.産業振興	1.21	1.18	1.19	1.40	1.13	1.30	0.109
5位	37.道路の整備	1.27	1.26	1.27	1.28	1.23	1.49	0.105

## (2) 満足度における各項目の地域特性

「高速交通網」の標準偏差が最も高く、次いで「医療体制」の標準偏差も高くなっている。また、上位5項目について各地域の満足度の内訳を下表に示す。東紀州地域では、上位5項目のうち「きれいな空気」を除いた項目の満足度が他地域と比べて低くなっている。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「高齢者、障害者の社会参加」「人権尊重」「国際化」「市民活動」「希少な生物」等であり、これらの項目の満足度は、地域でそれほど差がみられないといえる。

図 満足度の標準偏差（地域）

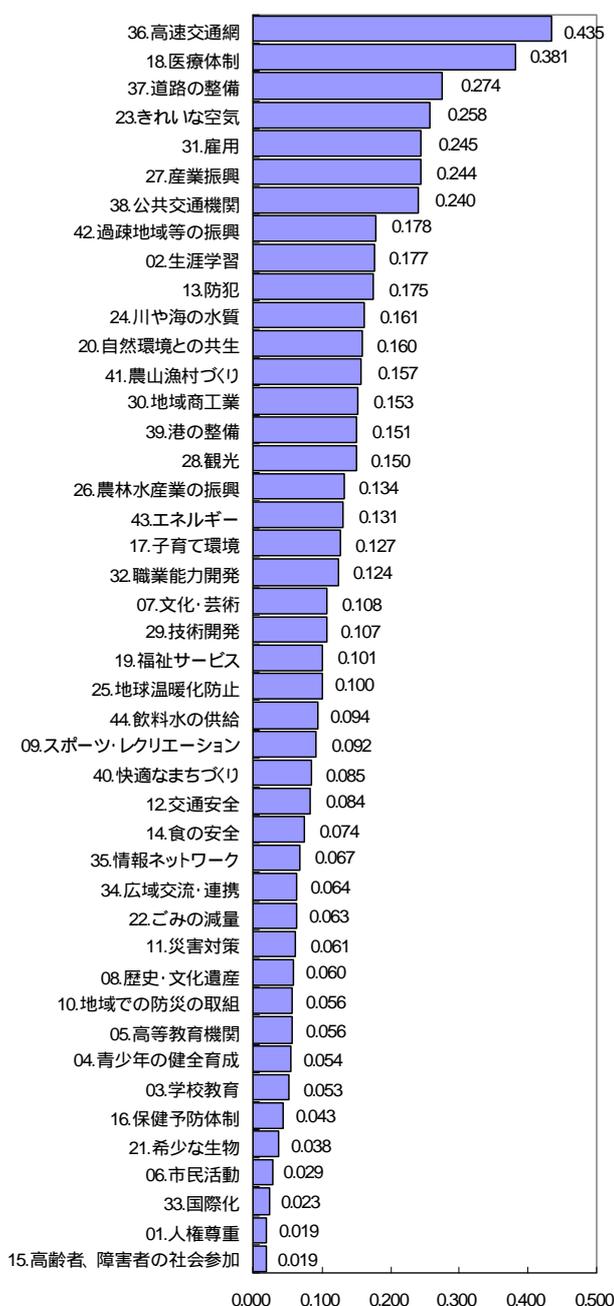


表 各地域の満足度と標準偏差

順位	項目	満足度						標準偏差
		全体	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	
1位	36.高速交通網	0.12	0.29	0.20	-0.06	-0.26	-0.80	0.435
2位	18.医療体制	-0.07	-0.06	0.14	-0.07	-0.44	-0.82	0.381
3位	37.道路の整備	0.02	0.12	0.07	-0.01	-0.22	-0.55	0.274
4位	23.きれいな空気	0.09	-0.13	0.14	0.43	0.31	0.52	0.258
5位	31.雇用	-0.67	-0.53	-0.69	-0.86	-0.72	-1.18	0.245

## 7. 県行政の取組に対する認知意識について

### (1) 認知している人のみの重要度、満足度の結果

県行政の取組を認知している人のみの重要度、満足度の結果は以下のようになった。

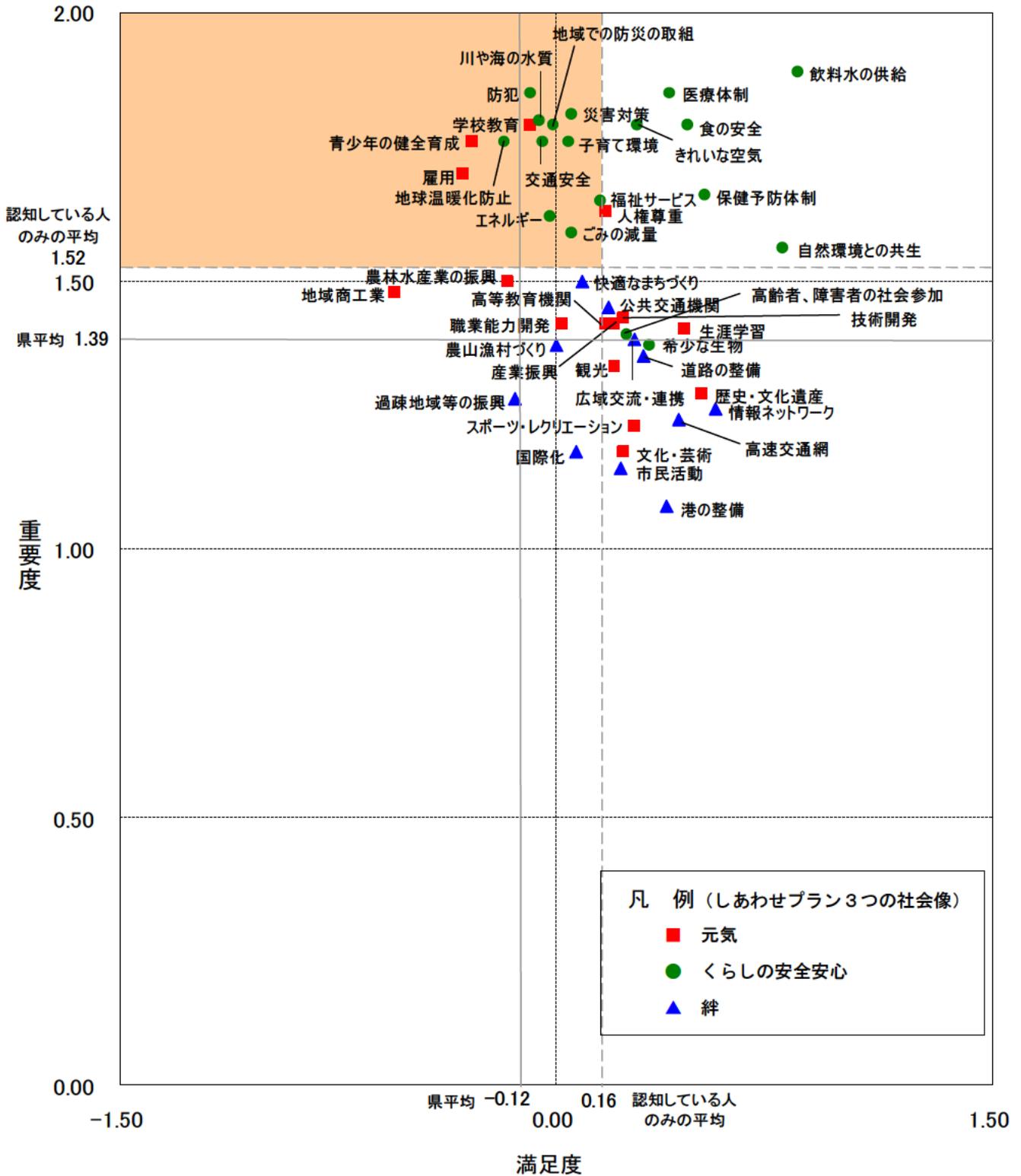
重要度は「04. 青少年の健全育成」を除く全ての項目について、回答者全員を対象とした場合より高く、満足度は全ての項目について回答者全員を対象とした場合より高くなっている。

表 認知している人のみの重要度、満足度

順位	項目	重要度	項目	満足度
1位	44.飲料水の供給	1.89	44.飲料水の供給	0.83
2位	18.医療体制	1.85	20.自然環境との共生	0.78
3位	13.防犯	1.85	35.情報ネットワーク	0.55
4位	11.災害対策	1.81	16.保健予防体制	0.51
5位	24.川や海の水質	1.80	08.歴史・文化遺産	0.50
6位	23.きれいな空気	1.79	14.食の安全	0.45
7位	14.食の安全	1.79	02.生涯学習	0.44
8位	10.地域での防災の取組	1.79	36.高速交通網	0.42
9位	03.学校教育	1.79	18.医療体制	0.39
10位	25.地球温暖化防止	1.76	39.港の整備	0.38
11位	17.子育て環境	1.76	21.希少な生物	0.32
12位	12.交通安全	1.76	37.道路の整備	0.30
13位	04.青少年の健全育成	1.76	23.きれいな空気	0.28
14位	31.雇用	1.70	09.スポーツ・レクリエーション	0.27
15位	16.保健予防体制	1.66	34.広域交流・連携	0.27
16位	19.福祉サービス	1.65	15.高齢者、障害者の社会参加	0.24
17位	01.人権尊重	1.63	07.文化・芸術	0.23
18位	43.エネルギー	1.62	29.技術開発	0.23
19位	22.ごみの減量	1.59	06.市民活動	0.22
20位	20.自然環境との共生	1.56	27.産業振興	0.20
21位	40.快適なまちづくり	1.50	28.観光	0.20
22位	26.農林水産業の振興	1.50	38.公共交通機関	0.18
23位	30.地域商工業	1.48	01.人権尊重	0.17
24位	38.公共交通機関	1.45	05.高等教育機関	0.17
25位	29.技術開発	1.43	19.福祉サービス	0.15
26位	32.職業能力開発	1.42	40.快適なまちづくり	0.09
27位	27.産業振興	1.42	33.国際化	0.07
28位	05.高等教育機関	1.42	11.災害対策	0.05
29位	02.生涯学習	1.41	22.ごみの減量	0.05
30位	15.高齢者、障害者の社会参加	1.40	17.子育て環境	0.04
31位	34.広域交流・連携	1.39	32.職業能力開発	0.02
32位	41.農山漁村づくり	1.38	41.農山漁村づくり	0.00
33位	21.希少な生物	1.38	10.地域での防災の取組	-0.01
34位	37.道路の整備	1.36	43.エネルギー	-0.02
35位	28.観光	1.34	12.交通安全	-0.05
36位	08.歴史・文化遺産	1.29	24.川や海の水質	-0.06
37位	42.過疎地域等の振興	1.28	03.学校教育	-0.09
38位	35.情報ネットワーク	1.26	13.防犯	-0.09
39位	36.高速交通網	1.24	42.過疎地域等の振興	-0.14
40位	09.スポーツ・レクリエーション	1.23	26.農林水産業の振興	-0.17
41位	33.国際化	1.18	25.地球温暖化防止	-0.18
42位	07.文化・芸術	1.18	04.青少年の健全育成	-0.29
43位	06.市民活動	1.15	31.雇用	-0.32
44位	39.港の整備	1.08	30.地域商工業	-0.56
	重要度平均	1.52	満足度平均	0.16

## (2) 認知している人のみの重要度、満足度プロット図

図 認知している人のみの重要度と満足度の関係（平成18年度）



(3) 認知していない人のみの重要度、満足度の結果

県行政の取組を認知していない人(「あまり知らない」+「知らない」)のみの重要度、満足度の結果は以下のようになった。

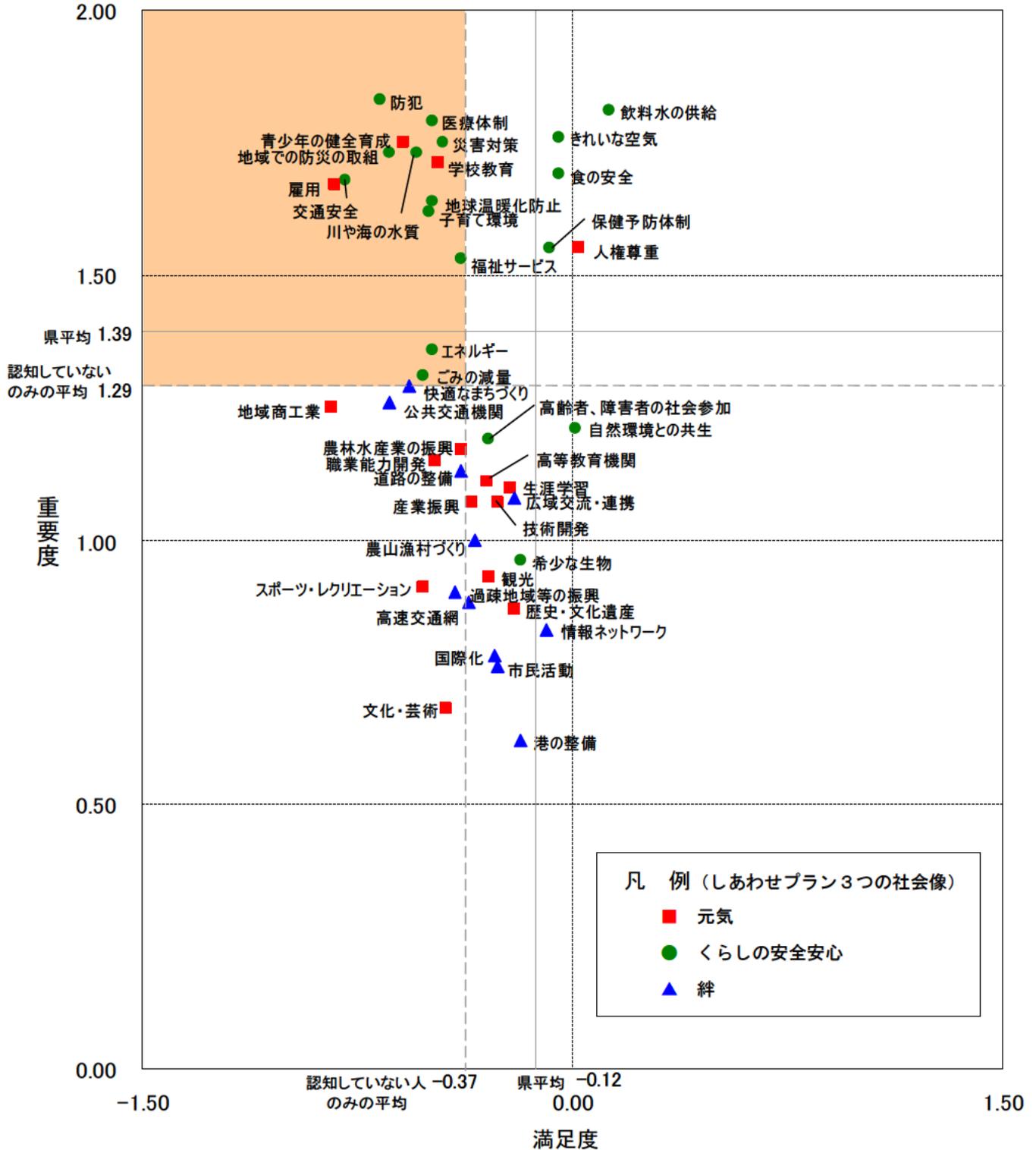
重要度、満足度ともに、認知している人のみの場合と比べて低くなっている。

表 認知していない人のみの重要度、満足度

順位	項目	重要度	項目	満足度
1位	13.防犯	1.83	44.飲料水の供給	0.13
2位	44.飲料水の供給	1.81	01.人権尊重	0.02
3位	18.医療体制	1.79	20.自然環境との共生	0.01
4位	23.きれいな空気	1.76	14.食の安全	-0.05
5位	04.青少年の健全育成	1.75	23.きれいな空気	-0.05
6位	11.災害対策	1.75	16.保健予防体制	-0.08
7位	10.地域での防災の取組	1.73	35.情報ネットワーク	-0.09
8位	24.川や海の水質	1.73	21.希少な生物	-0.18
9位	03.学校教育	1.71	39.港の整備	-0.18
10位	14.食の安全	1.69	08.歴史・文化遺産	-0.20
11位	12.交通安全	1.68	34.広域交流・連携	-0.20
12位	31.雇用	1.67	02.生涯学習	-0.22
13位	25.地球温暖化防止	1.64	06.市民活動	-0.26
14位	17.子育て環境	1.62	29.技術開発	-0.26
15位	01.人権尊重	1.55	33.国際化	-0.27
16位	16.保健予防体制	1.55	15.高齢者、障害者の社会参加	-0.29
17位	19.福祉サービス	1.53	28.観光	-0.29
18位	43.エネルギー	1.36	05.高等教育機関	-0.30
19位	22.ごみの減量	1.31	41.農山漁村づくり	-0.34
20位	40.快適なまちづくり	1.29	27.産業振興	-0.35
21位	38.公共交通機関	1.26	36.高速交通網	-0.36
22位	30.地域商工業	1.25	19.福祉サービス	-0.39
23位	20.自然環境との共生	1.21	26.農林水産業の振興	-0.39
24位	15.高齢者、障害者の社会参加	1.19	37.道路の整備	-0.39
25位	26.農林水産業の振興	1.17	42.過疎地域等の振興	-0.41
26位	32.職業能力開発	1.15	07.文化・芸術	-0.44
27位	37.道路の整備	1.13	11.災害対策	-0.45
28位	05.高等教育機関	1.11	03.学校教育	-0.47
29位	02.生涯学習	1.10	32.職業能力開発	-0.48
30位	34.広域交流・連携	1.08	18.医療体制	-0.49
31位	27.産業振興	1.07	25.地球温暖化防止	-0.49
32位	29.技術開発	1.07	43.エネルギー	-0.49
33位	41.農山漁村づくり	1.00	17.子育て環境	-0.50
34位	21.希少な生物	0.96	09.スポーツ・レクリエーション	-0.52
35位	28.観光	0.93	22.ごみの減量	-0.52
36位	09.スポーツ・レクリエーション	0.91	24.川や海の水質	-0.54
37位	42.過疎地域等の振興	0.90	40.快適なまちづくり	-0.57
38位	36.高速交通網	0.88	04.青少年の健全育成	-0.59
39位	08.歴史・文化遺産	0.87	10.地域での防災の取組	-0.64
40位	35.情報ネットワーク	0.83	38.公共交通機関	-0.64
41位	33.国際化	0.78	13.防犯	-0.67
42位	06.市民活動	0.76	12.交通安全	-0.79
43位	07.文化・芸術	0.68	31.雇用	-0.83
44位	39.港の整備	0.62	30.地域商工業	-0.84
	重要度平均	1.29	満足度平均	-0.37

(4) 認知していない人のみの重要度、満足度プロット図

図 認知していない人のみの重要度と満足度の関係 (平成 18 年度)



認知している人のみを対象とした場合の重要度、満足度は全体的に広がりが小さく、回答者全員を対象にした場合と比較して右上方に移行している。それは、満足度の平均から見ても明らかであり、重要度、満足度ともに全てを対象とした場合より高くなっている。

また、認知している人のみを対象とした場合の重要度は全ての施策が1.0を上回っており、施策の取組を知っているからこそ重要性を訴える傾向がみられ、満足度についても施策の取組を知っているからこそ満足している傾向がみられる。

認知している人と認知していない人とを比較すると、44項目全ての重要度、満足度は、認知している人のみを対象とした場合が認知していない人のみを対象とした場合を上回っており、施策の取組を知っているほど重要性を訴える傾向や、施策の取組を知っているほど満足している傾向がみられる。そのため、施策の重要性を理解し、満足してもらうためにはさらなる啓発活動が必要といえる。

例えば重要度について、認知している人としていない人との差が大きいものとして「文化・芸術」「港の整備」「情報ネットワーク」「歴史・文化遺産」「希少な生物」等があげられる。このうち「文化・芸術」(38.3%)、「歴史・文化遺産」(48.5%)、「情報ネットワーク」(49.0%)は認知意識が約4～5割を占めているものの、「希少な生物」(22.1%)、「港の整備」(28.1%)等は認知意識が3割未満であり、県の取組自体の認知度が低い項目である。したがって、これらの取組を今後積極的にPRすることにより、施策や事業の必要性について県民の理解の高まりが期待できる項目といえる。

また、満足度についても、認知している人としていない人との差が大きいものとして「医療体制」「公共交通機関」「スポーツ・レクリエーション」「高速交通網」「自然環境との共生」等があげられるが、特に「公共交通機関」はおよそ3人に1人の割合(36.1%)にしか取組が認知されていない状況に置かれている。これらの項目は、取組内容を知ってもらうことで満足度があがる可能性を秘めた施策であるといえる。

表 認知している人と認知していない人とで差が大きい項目

項目	重要度			項目	満足度		
	認知している人 のみの重要度	認知していない 人のみの重要度	差		認知している人 のみの満足度	認知していない 人のみの満足度	差
07.文化・芸術	1.18	0.68	0.50	18.医療体制	0.39	-0.49	0.88
39.港の整備	1.08	0.62	0.46	38.公共交通機関	0.18	-0.64	0.82
35.情報ネットワーク	1.26	0.83	0.43	09.スポーツ・レクリエーション	0.27	-0.52	0.79
08.歴史・文化遺産	1.29	0.87	0.42	36.高速交通網	0.42	-0.36	0.78
21.希少な生物	1.38	0.96	0.42	20.自然環境との共生	0.78	0.01	0.77

一方、認知している人としていない人の重要度の差が0.1未満の項目として「青少年の健全育成」「防犯」「雇用」「きれいな空気」「医療体制」「災害対策」「地域での防災の取組」「川や海の水質」「飲料水の供給」「人権尊重」「交通安全」「学校教育」があげられる。これらはいずれも重要度が高い項目であり、認知の如何に関わらず重要と感じている人が多いことがうかがえる。

表 認知している人と認知していない人とで重要度の差が小さい項目

項目	認知している人のみの重要度	認知していない人のみの重要度	差	重要度順位
04.青少年の健全育成	1.76	1.75	0.01	6位
13.防犯	1.85	1.83	0.02	2位
31.雇用	1.70	1.67	0.03	14位
23.きれいな空気	1.79	1.76	0.03	5位
18.医療体制	1.85	1.79	0.06	3位
11.災害対策	1.81	1.75	0.06	4位
10.地域での防災の取組	1.79	1.73	0.06	7位
24.川や海の水質	1.80	1.73	0.07	8位
44.飲料水の供給	1.89	1.81	0.08	1位
01.人権尊重	1.63	1.55	0.08	15位
12.交通安全	1.76	1.68	0.08	11位
03.学校教育	1.79	1.71	0.08	9位